

令和7年度 下田市立白浜小学校 グランドデザイン

令和の日本型教育
個別最適な学びと
協働的な学び

静岡県 教育行政
の基本方針
ウェルビーイング
誰一人取り残さ
ない教育

学校教育目標

自分の可能性を存分に発揮し、共に未来をひらく子

学校経営の重点…わたしもたいせつ あなたもたいせつ (合言葉)

学校経営目標

“みんなしあわせ”

子供が通いたい、保護者が通わせたい、地域が誇りに思う学校

下田市教育大綱

下田に誇りをもち、未来を切り拓く志をもった人

学校教育の基本方針

未来に向かってたくましく
しなやかに生きる子を育む

◆グローバルCITY

◆コミュニティ・スクール

《白浜小学校で育みたい6つの資質・能力》

- ①学びに向かう力
- ②自分なりに考え、自分の言葉で語る力
- ③違いを尊重する力
- ④しなやかにたくましい力
- ⑤よさを感じ取る力
- ⑥物事を前向きに解決しようとする力

基盤となる子供観

“成長の芽＝その子らしさ”

子供は無限の可能性を秘めており、どの子も内にその子ならではの“成長の芽”をもっている



人権教育

令和版
自分ごと
として学
ぶ子供

校内研修 (主として①②③)

研修テーマ『学ぶ楽しさを味わう授業』

*子供の学びを語り合い、その子の魅力を発見する研修

授業研究＝その子理解

本校ならではの教育課程 (主として③④⑤)

・海に親しむ活動、白浜のよさにふれる活動

(白浜を学ぶ・下田を学ぶ、白浜で学ぶ・下田で学ぶ)

・命と夢を大切に活動、豊かな心を育む活動

学習部 (主として①②)

指導部の重点『あたたかい聴き方、
自分の思いの伝え方』

生徒指導部 (主として③⑤)

指導部の重点『自分も友達も大切にする
あたたかい仲間づくり』

健康・体育部 (主として④⑥)

指導部の重点『健康な体と心をつくる』

具体的な取組・方策

1 ベクトルをそろえた学習の土台づくり

①ぐんぐんステップの活用
⇒共通理解と活用の仕方の統一

②月目標の共有
⇒全校で取り組みを進める

2 伝え合う場の設定

①総合的な学習の時間の発表

②異学年交流等の推進

③アウトプットする場の設定

⇒スピーチ、朝の会、お話しタイム等 (国語“話す・聞く”とのリンク)

3 個に応じた学習支援体制

①ぐんぐんタイムの工夫

⇒級外、支援員等の割振り、全校体制での個別支援



具体的な取組・方策

1 あたたかい言葉

①あいさつ運動と日々のあいさつの充実
⇒自分も相手も気持ちよくなるあいさつ

②相手を尊重した呼び方、話し方
⇒安心して過ごすことができる、居場所のある学級、学校

2 相手を思いやる心 (あたたかい心)

①“思いやり算数”の実施

②ソーシャルスキルの向上

③心があたたかくなる環境づくり

④縦割り活動の推進



《教職員間の連携・共有》

・生徒指導会議やケース会議の活用

・日々の情報共有

・複数対応と適切な初動

生徒指導＝その子理解

具体的な取組・方策

1 たくましい体

①指導方法の工夫と共有
⇒確かな体力と技能を身に付ける

②めあての設定とふり返りの充実
⇒自己調整能力の育成

③ヒヤリハットマップの作成・活用
⇒危険回避能力の向上

④健康手帳の活用
⇒自分の体に関心を持ち、健康のめあてを意識して生活する

2 しなやかな心

①レジリエンスの向上
⇒折れない心、ありのままの自分を受け止める心

②学年の枠を超えた遊び
⇒他者を受け入れるしなやかな心



《その子の見方・感じ方・考え方を培うもの》

- ◆学ぶ手応え、成長の実感 (学校の授業・行事・諸活動の中で)
- ◆地域の教育資源を生かした豊かな体験 (学校と地域の連携の中で)
- ◆心が温かくなる環境 (学校、家庭、地域の中で)
- ◆存在を丸ごと受け止められる安心感 (学校や学級、家庭の中で)

《求める職員の姿》

- ・子供と共に学び続ける教職員
- * 互いを尊重、職員の和 (輪) が子供に還る

《その子に応じた指導・支援》

- ・その子に応じた学習指導・支援、コミュニケーション能力の育成
- * ソーシャルスキルの向上 (アサーション、アンガーマネジメント等)